

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公表番号】特表2009-529195(P2009-529195A)

【公表日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-558461(P2008-558461)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/117 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 5 1 0 D

A 6 1 B 5/10 3 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月23日(2010.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(1) 対象の虹彩画像を取得するステップと、

(2) 前記虹彩画像を複数の径方向セグメントに径方向へセグメント化するステップと、

(3) 各径方向セグメントに関して、前記画像内部の所定の一次元特徴構造の基準値に対する前記セグメント内部の前記特徴構造に関するデータを決定するステップと、

(4) 前記径方向セグメントのそれぞれに関する前記データセットを含む、前記対象に関するテンプレートを作成するステップと、
を含む目の虹彩の生物測定学的分析によって対象を識別する方法。

【請求項 2】

ステップ(2)は、

(2 . 1) 前記対象の瞳孔の中心を決定するステップと、

(2 . 2) 前記画像中の瞳孔 / 虹彩境界を決定するステップと、

(2 . 3) 前記虹彩を等しい角サイズの複数の径方向セグメントに径方向へセグメント化するステップと、
を含む、請求項に記載の方法。

【請求項 3】

目の虹彩の生物測定学的分析によって対象を識別するためにコンピュータ読取り可能な媒体に具現化されるコンピュータプログラムプロダクトであって、

前記対象の虹彩の画像を取得するための第 1 のコンピュータ実行可能な命令と、

前記虹彩画像を複数の径方向セグメントに径方向へセグメント化するための第 2 のコンピュータ実行可能な命令と、

前記画像内部の所定の一次元特徴構造の基準値に対する前記セグメント内部の前記特徴構造に関するデータを決定するための第 3 のコンピュータ実行可能な命令と、

前記径方向セグメントのそれぞれに関する前記データセットを含む、前記対象に関するテンプレートを作成および格納するための第 4 のコンピュータ実行可能な命令と、
を含むプロダクト。